

図書だより



こまねしろうがっこう
駒羽根小学校
令和2年4月

1年生のみなさん入学おめでとうございます。在校生のみなさん進級おめでとうございます。4月は出会いの季節。図書館でもたくさんの本がみなさんとの出会いを待っています。駒羽根小の図書館ではみなさんがたくさんの本と出会い、知識を深め心豊かな時間が過ごせるように準備をしてみなさんの来館をお待ちしています。新しい本はどんどん壁に掲示されるので時々立ち止まってチェックしてね。

【図書館の利用について】

- ◆ 図書館に入るときは、気持ちのよいあいさつをしましょう。
- ◆ 本を借りるときは「本を借ります！〇年〇組〇番です」と伝えてください。
- ◆ 本を返す時は「本を返します！」と元気に言いましょ。
- ◆ 本は1人2冊まで借りることができます。期限は1週間です。
- ◆ 図書館では大きな声でさわいだり、走ったりしないでください。本を借りる時も返す時も、必ずカウンターでバーコードを「ピッ！」としてください。「ピッ！」をしないと借りたことにも、返したことにもなりません。

どくしょカードについて

【どくしょカードはきちんと記録しよう！】

1年間で50冊以上・・・「教育長賞」（4, 5, 6年生）
4, 5, 6年生の3年間で300冊以上・・・「県知事賞」として表彰されます。読書は冊数だけで量るものではありませんが、その積み重ねは確実にみなさんの心の豊かさにつながります。駒羽根小では【全員50冊賞】を目指しています。



☆4月23日から5月12日は「子ども読書週間」です☆

小さい時から本に親しみ読書の喜びや楽しみを知っていると、読書を通じて物事を正しく判断する力を身に付けることができます。子どもの成長にどれほど読書が大切かを大人が考える期間でもあります。今年の「子ども読書週間」の標語は「出会えたね。とびっきりの一冊に。」です。家にいる子どもたちにとびっきりの一冊を届けてください。



4月は本来なら図書館の開館に向けた準備を進めていた時期ですが新型コロナウイルス感染症の対策として休校措置が取られ、子どもたち保護者の日常と心に大きな負担がかかっている現状に心を痛めておられると存じます。しかし、こんな時だからこそ、一冊の本があれば、いつでも、一人でも、だれとでも読むことができる「読書」の楽しさが再評価されるのではないのでしょうか。困難な状況ではありますが、これまで同様に、子どもたちに読書の楽しさを届けたいと思います。読書推進運動協議会では、過去5年分の「若い人に贈る読書のすすめ」が掲載されています。全国学校図書館協議会では、1年間に刊行された絵本の中から厳選した50冊のリスト「えほん50」や、「よい絵本」「集団読書テキスト一覽」「青少年読書感想文全国コンクール」の「過去の課題図書一覽」など、子どもたち向けのブックリストがホームページなどで公開されています。ぜひ駒羽根小の児童たちが「とびっきりの一冊」と出会う春になることを願っています。